

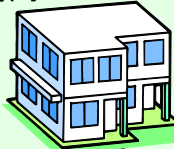
小さなひとつの命を守るために

本県の小児医療提供体制
(現状のイメージ図)

資料1

◆小児救急…夜間・休日の急病

- <第3次救急> 中病・厚生連高岡
- <第2.5次救急> 黒部・砺波
- <第2次救急> 輪番制病院
- <初期救急> 急患センター



新川
医療圏

富山
医療圏

高岡
医療圏

砺波
医療圏

■高度小児専門医療

高度救命救急・がん・難病等の高度医療

- ・富山大学附属病院
- ・県立中央病院
- ・厚生連高岡病院



総合周産期母子医療センター

(全体的な課題)

- ・小児科医師の確保
- ・働き方改革への対応

※医療圏別小児科医師数(H30.12)

	医師数	小児 1万人対
富山県	147	12.0
新川	8	6.2
富山	90	15.1
高岡	38	11.1
砺波	11	7.5
全国	17,321	11.2

(課題)

- ・軽症患者が2・3次救急を利用する傾向は変わらず
- ※電話相談利用は1万件超(R1)
- ・急患センター協力医師の高齢化
- ・将来的に医療圏ごとの体制維持が難しくなるおそれも

■小児専門医療

公立・公的病院(詳しい検査が必要な時)



■一般小児医療

かかりつけ医(健診・予防接種を含む一般診療)

こどものこころの問題

～悩んでいる子どもを助けてたい～

- ・富山リハビリテーション病院・子ども支援センター
- ・国立病院機構富山病院

往診

◆健康相談等

- ・子ども医療電話相談 (#8000)
- ・市町村、厚生センター(保健所)の健康相談

病院へ
行ったら
いいか
迷ったら…



■在宅医療

在宅で療養している子ども(医療的ケア児など)

(課題)

- ・デイ・ケアやレスパイト入院の仕組みに対するニーズ
- ※小児対応の訪問看護ステーションは増加(R1:46)

訪問看護



(課題)

- ・発達障害、虐待を受けた子どもに対する医療的ケアが必要
- ・児童精神科医が不足
- ※砺波総合病院発達相談外来
南砺家庭・地域医療センター
児童精神科(R3.6新設)